

千住消防団 だより

編集・発行
千住消防団編集委員会
印刷：ハヤシ印刷株式会社

足立区内消防団合同点検を実施



9月24日(日)14時00分から15時30分まで、荒川右岸河川敷大川町緑地自由広場(足立区千住大川町32番先)において、実に4年ぶりとなる令和5年度足立区内消防団合同点検が実施されました。

当日は天候にも恵まれ、点検者である消防総監の代壇として企画調整部長を迎え、足立区内3回の消防団長による

部隊検閲及び首都直下型地震の発生を想定した消防活動演技を実施しました。

部隊検閲では、徒列部隊及び機械部隊の行進が行われ、礼節を重んじ、規律正しい消防団員の姿を確認することができました。

消防活動演技では、震災直後の参集に始まり、消防団員によるタブレット端末を活用した被害状況の収集や住民と連携したパケツワリレー等初期消火活動を実施しました。

その後、中学生消防隊とともに可搬ポンプによる消火活動を実施、東京消防庁災害時支援ボランティアと連携した救急救護活動を展開し、特殊技能団員による重機を活用した救助活動や危険物の搬送を実施しました。

最後に合流火災となった大規模火災に對し、足立区内3団が連携し延焼阻止線を設定し、放水で消防活動演技は終了しました。

日頃の訓練の成果に對して、足立区長をはじめ、多くの列席者及び住民から大きな拍手を頂き、頼もしい消防団員の姿を誇示することができた足立区内消防団合同点検となりました。

団本部副団長 就任挨拶



千住消防団 副団長
金子 祐司

令和5年7月1日付で、第1分団長から団本部副団長に就任致しました金子です。

私は、柳原生まれの柳原育ちで、地域の変わり様を見てまいりましたが、昔から住宅密集地は変わらず、地震に関する総合危険度は最も高く危険な地域になっております。また、千住消防団地域全体を見ても危険度は高く、この地域に大きな地震が発生した際に、被害を最小限に止めるには、消防活動を迅速に行うことができるようになるための訓練を充実するしかありません。

消防団員一人一人が努力し、地域の皆様の信頼がより一層得られ、若い方々が、人でも多く消防団に入団していただけるように、団本部において諸先輩方に御指導いただきながら消防団活動に励み、星団長を補佐し、地域のお役に立てるよう努力してまいります。

第1分団長 就任挨拶



第1分団長
草柳 直正

令和5年7月1日、第1分団長を拝命しました。従来以上に分団の活動等

例大祭警戒を実施

千住消防団管内の町会等による祭礼が9月中旬に各所で行われました。特に9月9日(土)の宵宮祭には、多数の参加者や見学者が集まり、消防団による救護体制の確保、情報収集等を実施しました。

例大祭の期間中に行われた各祭礼においては、多数の人数で賑わう中、巡行する神輿や出店等に対して担当分団ごとに消防特別警戒を実施しました。



「足立の花火」消防特別警戒を実施

令和5年7月22日(日)千住五丁目先荒川河川敷において、実に4年ぶりとなる「足立の花火」が開催され、およそ1万5千発の花火が打ち上げられました。

今年は、過去最多となる74万人が来場し、多数の観客で賑わうなか千住消防団は千住消防署と連携し警戒にあたりました。

千住消防団からは東京科学大学学生団員を含む警戒員が約70名参加し、可搬ポンプによる火災警戒・自衛者の救護・会場内の巡行警戒等を実施し、花火大会の円滑な運営に貢献することが出来ました。

幹部コラム

第8分団 分団長 渡邊 聡

8月のうだるような暑い日、東京都特別区消防団幹部研修・指揮幹部研修40周年合同懇親会に出席しました。

私が指揮幹部研修に参加したのは、平成28年3月、消防学校での1泊2日の研修でした。思っていた以上に難しい訓練で、誰一人として知っている団員がいなかった中、授業が進められ、しんどかった思い出が有ります。しかし、その時に毎日のミーティングで皆さんとしっかり打ち明け、消防団員として地域に貢献する方向性は同じなので、時間が過ぎるのも忘れる程、話で盛り上がった記憶があります。

合同懇親会は今度で2回目の出席となり、たった2日間の研修でしたが、こうして会を開催していただくことは、大変有意義な事だと改めて感じました。10月には、2期生だけの同窓会も開催され、出席します。団員の皆様も機会がありましたら是非、指揮幹部研修に申し込んでください。きっと得る物も多いかと思えます。

分団により

第5分団 団員 西本 隆治

今年は新型コロナウイルス感染症の5類移行以来、行動制限もなくなり、様々な行事やイベント等が次々と復活し、第5分団の活動も日常に戻りつつありますが、コロナウイルスも次々と変異インフルエンザウイルスと同時流行している状況でもあります。

引き続き基本的な感染対策を忘れず、秋の火災予防運動と歳末警戒を頑張りたいと思います。

また少しでも消防団員を増やすため、募集活動も引き続き頑張りたいと思います。

編集後記

第6分団 部長 須永 光

合同点検お疲れさまでした。合同点検も終わり、秋寂いてきました。みなさんは読書の秋? 実家の秋? でしょうか。私は食欲の秋です。今年もあと2か月になりました。秋の火災予防運動と歳末警戒を残すのみとなりました。

歳末警戒まで頑張ってください。



第5分団長
鈴木 五三夫

第5分団長 就任挨拶

令和5年9月1日付で青山前分団長に代わり分団長に就任いたしました。近年、消防団を巡る環境には厳しいものがござりますが、誠心誠意消防団活動に努める覚悟です。

また、関東大震災から100年が過ぎ、地震の活動期に入ったと考えられているほか、温暖化による気候変動等、災害の危険が増大していることから、団員各位の意識と能力の向上が必要不可欠だと思えます。



第7分団長
重国 祐之

第7分団長 就任挨拶

このたびは、消防団分団長に任命され、大変光栄に思っております。この大切な役割を果たすことができれば、感謝の意を表します。

私は消防団分団長として、地域の安全と安心を守るために全力で努力し、団員の皆様と協力していく覚悟です。また、私達の使命は、火災や災害の発生時に速やかに対応し、被害を最小限に抑え、地域の方々の安全を守ることです。この重要な使命を果たすために、日々訓練を重ね、知識や技術の向上に努めてまいります。

また、消防団は地域社会と深いつながりを持つ組織です。地域の皆様からの信頼を築き、お互いに支え合い、協力し合うことが不可欠です。私は団員の皆様と協力して、地域の安全を守り、地域の発展に貢献していくことを誓います。

最後に、皆様の健康と努力によって、地域の安全を守ることができると信じています。一緒に頑張り、助け合いながら、より安全な地域を築いていきたいと思います。

今後とも、皆様と共に歩み、地域のために全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。